新京日日新聞
夕刊　十二月二十七日
本紙定價 一ヶ月壹圓五拾錢 一部五錢
廣告料金 普通一行壹圓五拾錢 特別一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話【編輯局專用(3)三三五 營業局專用(3)三三〇〇】
發行人 河本榮忠 編輯人 本... 印刷人 水越内之介

〝余は統帥の職にあり 全く慚愧に堪へず！〟

南京歸來の蔣介石第一聲

友邦朝野、國内同胞の同情に感謝

【上海廿七日發國通】蔣介石氏は南京安着に關し左の如き談話を發表した

余は統帥の職にありながら今回の如き事變が勃發したことに對し全く慚愧に堪へない、いまはたゞ中央の決定を待つばかりである、而して事變中各友邦朝野および國内の同胞の御同情には感謝の言葉もない

軍法會議を開き 學良氏の處罰を協議

【上海廿七日發國通】國民政府軍事委員會は近く軍法會議を開催して學良氏の處罰に關し協議することゝなつた、なほ中央黨部常務委員會は廿六日午前八時中央黨部において臨時會議を開き西安事變の善後策につき三時間半にわたり協議した

張氏南京着 斷罪を待つ

――國民政府發表――

【上海廿七日發國通】國民政府は張學良氏の行動に關し左の如く發表した

張學良氏は廿六日午後二時十五分宋子文氏と共に西安より南京着、宋氏邸に入り國民政府の斷罪を謹愼してまつてゐる

中央、學良兩軍 撤退開始

【上海廿七日發國通】妥協成立、停戰命令と同時に第一線部隊中央軍第七十九師、學良軍第百十六師は赤水において廿六日午後双方の師長が會見停戰會議を行ひ各々撤兵するに決し、廿七日朝より原衞戍地へ後退を開始した、また西安市内も漸く常態に復歸した

日本の對支貿易 前途樂觀

【東京國通】西安事件發生以來その影響を憂慮されてゐた對支貿易は今回蔣介石氏の釋放によつて事態は急速に常態に復歸するものと期待し當業者一般に前途を樂觀するに至つた、すなはち今回の直接影響としては一時商議の見送りその他多少の混亂があつたが今日まで隴海線の一部の不通によつて受けた貨物中絕の他にはまだ全面的な影響を受けるに至つてをらず事件の推移について警戒されてゐたに過ぎなかつた、しかるに張學良氏との妥協成立によつて事件が一應落着を示すに至つたので交通機關も常態に復すべく近年稀有の豐作を傳へらる農產物出廻りも順調になり貨物の奧地輸入增加も期待されるので貿易上の影響も當初の悲觀人氣を一掃するに至つた、問題は蔣介石氏今後の態度であるが目下のところ必ずしも悲觀材料視する要なしとして貿易當業者方面では今次事件の影響殆んど皆無に終るものと樂觀してゐる

產業五ケ年計畫

――對滿事務局發表――

【東京國通】滿洲國產業五ケ年計畫に關する廿六日の會議散會後對滿事務局は左の發表をなした

本日對滿事務局、關係省間において滿洲產業開發五ケ年計畫に關し現地關係者より鑛工業、農畜產業、交通通信の各部門等につき說明を聽取し、その意のあるところを諒承せり、今後はさらに現地における檢討と相俟つて日本内地においても日滿經濟の合理的融合の基本國策に則り仔細にその内容を檢討し、本計畫の具現方に關し協力援助することを申合せ散會せり

歲末の金融界は 各方面共順調

田中中銀總裁語る

歲末金融界は特產相場の强調ならびに輸出著增、國幣の鮮銀券への代位などから極めて活潑な動きをみて國幣發行高は新記錄をつくつてゐるが、廿六日田中中銀總裁は歲末市場と金融狀況について左の如き談話を發表した

歲末市場は各方面共極めて順調に推移してゐる、今年は農產物の作柄が前年よりも良好といはれてゐるのみならず、その價格も著しく昂騰を告げた、殊に特產大豆は一般農產物相場の世界的强調に加ふるに、歐洲油脂市況の好調、輸出の著增といふやうな色々な好材料に惠まれて農村所得を變らず良化した、その他諸鑛業の發展をはじめ、工業方面でも北滿地方の麥粉とか、南滿地方の綿糸布などそれぞれ近年にない增產振りを示してゐる、都會地の土建工事は引續き進捗してゐるが奧地農民の購買力の增大を見越しての商品取引も活況を加へて來た模樣である、また當國の貿易の大勢をみても、年初以來輸出は好況を持續した爲上半期には出超を示し、下半期に入つて入超となつたけれど、昨年に比し貿易尻の好轉顯著なるものがある、要するに滿洲經濟の大體の動向から言ふと今年は財界の活動が一層普遍化して都鄙間の景氣が漸次平準的に且つ正常的に發展して來たといはれるのであつて洵に慶賀に堪えぬ次第である金融界もまたこれと相並んで伸展してゐるが、各銀行や合作社等の預金貸出は急增し、滿洲中央銀行の内國爲替の受拂を見ても口數も金額も著しい增加であつて一般商取引數量の增加、從つて又經濟活動の伸展を如實に物語つてゐる、右の樣な

財界の實勢を映じて資金の需要も增加したのであるが、殊に最近における特產資金の需要は旺盛であつて、銀行の貸出も資金の回收もなかなか多くなつてゐるところに、年末資金の移動が加はりなほ過般來國幣の鮮銀券への代位といふ關係もあつて、昨今國幣の發行高は二億四千萬圓を示してゐる、而してこの國幣發行高に對する正貨準備率は約六八・七%に上り、これ亦前年同期より一五・六%方の增加を示してゐる、かくの如く國幣の發行高は經濟界の實需に從つてそれぞれ增減すると共に、益々健實を加へ、一般金融機構の整備、各種金融機關の强化と相俟つて金融の疎通をして一層圓滑ならしめつゝある次第である

治法撤廢を前に 信賴愈よ加はる

首都警察本年の全貌（上）

昭和十一年度に於ける首都警察廳の業績は治外法權撤廢を目前に控へて全面的に一大更改と躍進を成し遂げ、來るべき明日への第一段階的な完全なる諸準備を完成したものと言ひ得るであらう、この一大轉換期に當つて先づ行はれたのが人的構成の變改であつた即ち三月二十三日嘗て愛媛縣の名警察部長として敏腕を振つた通修氏が安東省警務廳長より初代副總監として着任するに及んで四月には中野警務科長が民政部警務司總務科長に、八月には江口司法科長が間島省公署警務科長にと何れも榮轉し、爾來通副總監兼務し來つたが九月中野氏の後を襲つて中央警察學校教授福田祐一氏が司法科長に、間島省公署警務科長田中氏が新任警務科長として着任したがこの間松島警佐が警正に榮進して大經路警察署長となり、こゝに同廳の人事は新進氣銳の人物を拔擢配備して全くその陣容を整備するに至つた

□

殊に首都警察の所謂廳是とも言ふべき確固たる指導精神を樹立したのは通副總監であるとも言ひ得るであらう、劍道四段、古武士的な風格のある氏は烈々たる五族協和の建國精神に立脚して廳をよく指導統帥し、氏の理想とするところは舊來の過渡的な軍事警察を隆々たる國運の進展に副ふべき文化警察の確立である、部下に對しては事ある每に日本精神を說き、其底流をなすところの武士道精神を釋いて警察官のかくあるべき道を示したが果してそこに培はれた廳風は實に質實剛健なものとなつて現れずにはゐなかつた全廳員が結氷を踏んで凍る戶外に肇國體操を布き、每週一回の清潔日には科長も股長もそして警士も一樣に上衣を脫いで室内の大掃除を勵行する塵一本、煙草の吸殼一本廊下に落ちてゐない廳全體の整頓振りが頓に張り切つて來た廳内の氣風をそれとなく物語つてゐると言ふも過言ではない

□

顧つて同廳の管轄區域は新京特別市並びに長春縣全體であるが規劃事業に於ても見るべきものあり人口一萬四千人を有する北滿特區寬城子警察署は警察事務執行上統一を缺き連絡不充分なところから八年末を以て廢止となり、新たに本年一月一日同署は其まゝ首都警察廳の管轄下に置かれた續いて人口約一萬の鐵路局路警管下の東站地區も康德二年八月勅令第百號（國有鐵道職員の警察事務執行に關する件）によつて路警が行ふ警察權の範圍區域が限定された爲これまた本年二月同廳の下に移管された、これによつて警察事務執行上支障が除かれ、現にその證左として東站地區は從來强盜頻發し治安上不良地區と目されたのが移管後は一件の事件もなくなり同時に寬城子地區にあつても惡質の事件が全く除去されるに至つた

□

次に特筆すべきは本廳舍の移轉である、舊廳舍は長通路宮内府前にあつたがそれは舊政權時代吉林第二監獄として造られたもので位置が偏在し監獄と言ふ性質上事務執行上不便で狹隘なところから三月大同廣場第二政府代用廳舍に移轉した、即ち現在の廳舍がそれで、移轉と同時に六萬數千圓を投じて全滿に誇る近代的留置場を附置した、次に警察署及び派出所の新設又は新改築であるが八月に永長路と長通路の交叉點に長通路警察署を新築し續いて民政部前の消防署を長春大街と永長路[illegible]移した、寬城子警察署は旣に竣工に近く來[illegible]の筈である、次で[illegible]月の闘新市街に入[illegible]ヶ所の派出所を新設したが更に市内に四ヶ所の改築があつた、萬寶山警察署は九月京濱線米砂子驛に新設されたが滿洲事變の發端をなした同地方の治安はこれにより全く確保された、尙市外の各警察署の管轄區域は從來長春縣公安局のそれを踏襲してゐたが地理交通、治安、保甲關係の警察事務執行上の見地から改善の要を認め關係各方面の意見を徵し全般的に警察署及分駐所の管轄區域を變更し且これに伴つて分駐所の新設を要するもの四ヶ所、位置の變更を要するもの五ヶ所を豫定し準備を完了した、なほこの外主なる業績として警察電話及び市外をとりまく環狀線道路の完成及び警察署の執務制度の改善等を擧げることが出來る

昭和十一年の回顧

滿洲興銀の 課長、本支店員責任者決定

滿洲興業銀行の各課長、本支店の責任者は次の如く決定した

秘書課長 久芳亨介　人事課長 山成與政　檢査課長 細川富士一　業務課長 箱崎文彌　產業金融課長 同上　中小金融課長 事務取扱 高橋理事　管理課長 八木虎之助　計算課長 事務取扱 一色理事　調査課長 同上　庶務課長 栗田二郎　本店 支配人寺島德實 支配人代理梶浦滋 同末光擧　新京大同大街派出所 支配人代理富松恒藏　新京南廣場支店 支配人田中麟太郎 支配人代理馬場秀藏 同安藤智光 同宮原常好　新京日本橋通支店 支配人岩澤猛 支配人代理岩松英一 同山名豐樹　大連伊勢町支店 支配人佐藤建次 支配人代理星原靜治 同花井文治 同小田井倍尾　大連支店 支配人矢島嘉平 支配人代理高垣寬吉 同野口秋利 各務義長　大連支店小崗子出張所 支配人代理松尾茂一　大連支店沙河口出張所 支配人代理武田政次　安東支店 支配人浦川秀信 支配人代理谷脇龜太郎 同增田重雄　安東市場通支店 支配人服部繁松 支配人代理才川哲勇　安東興隆街支店 支配人高橋憲弘 支配人代理芹澤善一　旅順支店 支配人庵原豐　營口支店 支配人吉本時次 支配人代理渡邊俊隆 同二木末雄 支配人代理坂本正雄　遼陽支店 支配人高田克 支配人代理飯島信一　奉天支店 支配人齋藤寅吉 支配人代理京口諭一郎 同荒木秀太郎 同日下部政太郎　奉天浪速通支店 支配人松谷貞太郎 支配人代理鈴木積一 同市川信太 同川井田文藏　奉天小西關支店 支配人中村實 支配人代理小野保一 同月森六三　錦州支店 支配人竹内茂次郎 支配人代理大島光　錦州支店赤峰出張所 支配人代理野中藤作　錦州支店承德出張所 支配人代理戶口涉　鐵嶺支店 支配人荻尾開造 支配人代理内田直臣　開原支店 支配人中居秀雄 支配人代理渡邊福之助 同久保田泰雄　四平街支店 支配人清水彌吉 支配人代理伊藤竹次郎 同加藤尚武雄　四平街支店西安出張所 支配人代理濱出幸次　哈爾濱支店 支配人桑尾勝雪 支配人代理宇宿敬次 同石賀茂 同三谷緣　哈爾濱石頭道街支店 支配人太田行雄 支配人代理竹田計二郎 同矢内駿一　哈爾濱傳家甸支店 支配人木原猛良 支配人代理佐藤寬　哈爾濱傳家甸支店綏化派出所 支配人代理磯田勝夫　齊々哈爾支店 支配人馬渡猛 支配人代理大鄕良平　齊々哈爾支店海拉爾出張所 支配人代理難波信治　龍井支店 支配人鹽澤茂 支配人代理坂本列樹　圖們支店 支配人蛇口辰三 支配人代理樽井百人 同今關源義　撫順支店 支配人矢野次郎　支配人代理緒方惟武 同鹿子木秀義　山城鎭支店 支配人伊香善五郎 支配人代理加藤猛　本溪湖支店 支配人大羽順治 支配人代理谷歟垣正乘　牡丹江支店 支配人野坂卓爾 支配人代理村上嵩　金州支店 支配人孫永增　貔子窩支店 支配人近藤治　普蘭店支店 支配人郭光儀　海城支店 支配人久米英一 支配人代理橋本常夫　鞍山支店 支配人青木咲吉 支配人代理武藤亦男　公主嶺支店 支配人坂齋保 支配人代理州本藤吉　范家屯支店 支配人（本店兼務）支配人代理上坂幸　吉林支店 支配人鈴木良太 支配人代理川畑秀志　なほ朝陽鎭、新台子の兩出張所は未定

文部參與官更迭

【東京國通】文部省では廿八日の閣議で文部參與官は左の如く更迭することに決定した

任文部參與官 勳四等 武智勇記
文部參與官 作田高太郎 依願免本官

作田氏の免官は病氣のためである

外務辭令

【東京國通】廿六日附で外務省より左の辭令が發せられた

領事（シカゴ） 井口貞夫　命東亞局兼勤 外務事務官 杉原荒太　命調査部第五課長 任外務書記官 命條約局第二課長 調査部第四課長 加藤三郎　命調査部第五課長兼務 條約局第二課長　命條約局第一課長 松本俊一　特命全權公使（チリー） 三宅哲一郎 昇敍高等官一等　外務理事官 岩崎榮藏 任領事　領事（コロンボ） 乙津鋒次 任外務理事官　大使館參事官兼總領事 命大臣官房勤務 正五位勳三等 栖山正幸

森島守人氏 東亞局勤務

任特命全權公使 エヂプト國駐剳被仰付

【東京國通】オランダ公使に内定した桑島東亞局長のアグレマンはこの程到着したので有田外相は廿六日の閣議に附議發令の豫定であつたが日支關係の重大性に鑑み明春まで同氏の發令を延期し廿六日後任局長に内定した森島書記官の東亞局勤務を左の如く發令した

大使館一等書記官（ドイツ） 森島守人
任外務書記官 命東亞局勤務

人事往來

（來京）

▲池原義見氏（滿鐵）二十六日來京ヤマトホテル ▲秋田豐作氏（同）同 ▲實吉吉郎氏（同）同 ▲田中末治氏（同）同 ▲中川正氏（同）同 ▲石田英氏（官吏）同 ▲下田勝久氏（檢察官）同 ▲辻信次氏（奉天獸醫養成所長）同 ▲江崎重吉氏（滿鐵）同 ▲吉良修氏（松村組）同蓬萊ホテル ▲森山誠之氏（安東省學務科長）同國際ホテル ▲黑田重治氏（同土木科長）同 ▲本田卓正氏（官吏）同 ▲太田長四郎氏（同）同 ▲市川董氏（電々）同 ▲劉鴻洵氏（間島省農務科長）同 ▲笹沼周作氏（安東地方法院）同 ▲木下秀敎氏（林業）同富士屋 ▲鴨田保二郎氏（同）同 ▲今吉均氏（官吏）同 ▲鈴木正二氏（同）同 ▲宮川角次氏（會社員）同 ▲村田省三氏（官吏）同 ▲佐藤義胤氏（滿鐵）同中央ホテル ▲占部利夫氏（福井高梨組）同大和新館 ▲菱沼敎治氏（協和會）同 ▲山野盛氏（五常領事館）同 ▲辻友親氏（滿洲生命）同 ▲村椿彌一郎氏（同）同 ▲嘉村清一氏（雜貨商）同 ▲安館菊三氏（牡丹江林務署長）同國都ホテル ▲城富次氏（官吏）同 ▲關口藤吉氏（滿鐵）同 ▲中藤照宗氏（鑛山業）同 ▲江副照一氏（千代田製作所）同 ▲宗謙一郎氏（出版業）同 ▲仲巳倉吉氏（奉天市公署總務科長）同 ▲高橋新氏（協和會）同愛國ホテル ▲河村慶人氏（官吏）同 ▲藤武久男氏（工業大學敎師）同向陽ホテル ▲森脇松一郎氏（アジアビール社長）同 ▲福島一郎氏（官吏）同滿蒙旅館 ▲實性確成氏（著述業）同

（出發）

▲池木隆氏二十六日發奉天へ ▲國吉嘉市氏同 ▲相馬龍雄氏同ハルピンへ ▲江森盛久氏同大連へ ▲森岡皐氏同吉林へ ▲上野充一氏同大連へ ▲栗森鐵男氏同 ▲大橋廣四郎氏同 ▲篠田義雄氏同 ▲中川豐氏同奉天へ ▲藤井保則氏同 ▲菊岡安次郎氏同 ▲小久保順二氏同吉林へ ▲橋本喜太郎氏同四平街へ ▲御園生義三氏同錦縣へ ▲吉川喜一氏同 ▲塚本四郎氏同仁川へ ▲園田比農夫氏同通遼へ ▲池田良吉氏同延吉へ ▲西山建一氏同四平街へ ▲今田益市氏同吉林へ ▲餘田起三郎氏同圖們へ ▲長久美氏同北票へ ▲土本健一氏同内地へ ▲荻原八十盛氏同公主嶺へ ▲神田久太郎氏同旅順へ ▲莫健氏同公主嶺へ ▲貴志重光氏同奉天へ ▲尾崎重樹氏同チチハルへ ▲馬淵俊一氏同大連へ ▲中野江漢氏同 ▲宮川隆氏同奉天へ ▲水町凉氏同 ▲渡邊文郞氏同 ▲高田昌彥氏同 ▲元野長太郎氏同安東 ▲今村三郎氏同錦縣 ▲岡本巳代治氏同 ▲内山光義氏同奉天へ ▲海老孜氏同大連へ ▲每熊鐵雄氏同奉天へ

その日〳〵

□ 生きて恥ありの感想、蔣氏さすが新生活運動を說いた日の表情を保つてゐるらしい

□ 學良は斷罪を待つといふのだが、むろん軟かい處置をねがつてゐるに違ひない

□ 新しい豫算、新しい事實、新しい刑法と康德三年の暮れを賑やかにいろどる

□ 鄭前總理邸が史蹟として保存される、この國の創建期を適切にしるしづけて

□ 歲末、慌ただしい日曜日、最後のクリスマス行事などはやゝゆとりある風景である

鄭前國務總理邸 史蹟として保存
鄭氏一家は柳條路の新邸へ

前國務總理大臣鄭孝胥氏は退官後は東三馬路の自邸に在つて詩書三昧に悠々自適の日を送つてゐたが、かねて特別市柳條路に新築中の新邸も十二月上旬竣工轉居することゝなつたので、滿洲國政府では鄭孝胥氏が清朝の遺臣として滿洲國皇帝陛下が天津、北京におかせらるゝ御苦難時代から輝しい滿洲建國の基礎なつた今日まで絶えず側近に奉仕し偉大な功績あつたのみらず、初代の國務總理大臣として忘じ難き人物としてその由緒ある邸宅を徒らに他に利用或は荒廢するのを憂へ、これを滿洲建國記念の天然史蹟保存物として永遠に保護することゝなつた

暮の國都新京に 與太もの横行す
トコロバライモナンノソノ
明朗新春期し新京署躍起

が最近所々を喰ひつめたこふした與太者が暮れ正月をあてに大分入り込んだ模様で新京署では腕きき刑事連を總動員して特別班を作り これ等不良の徹底的捜査を行ひ容赦なく退去せしめ正月を明朗にすることになつて二十六日から着手した

大阪市此花區韋開町生れ大利福太郎（四十七）は大連、奉天と軟派專門に詐欺、恐喝を働き年甲斐もなく女を欺して金品をまき上げ

貞操

までも弄びほうれるだけしぼつては捨てると云ふ許す可からざる不德漢であるが暮れをめあてに新京に流れ込み中央ホテルの女中井出利子＝假名＝をたらし込み利子が金策に惱んで居るのを知つて親切らしく話して利子の着物類を出させ吉野町羽後屋質店に入質して百卅圓借り利子には百圓借りたといつはつて卅圓を着服し佐賀縣杵島郡江北村生れ澤田始（二十五）といふ先月末に新京を諭示退去を命ぜられ暮れのどさくさにまぎれ込んで來た傷害、恐喝前科三犯と云ふ無頼の徒と東一條通り塚本某方を根城として硬軟コンビして町をより荒し廻つてゐたが前記利子の件で成松刑事に二十五日悪企み最中を逮捕された、また大連を退去を命ぜられた刺青ゴロ酒井久三郎も當地に流れ込んだ形跡あり新京署では嚴重捜査中である

元旦の早暁
新京神社から實況放送

新京放送局では元旦の午前零時二十分から新京神社で擧行される民衆平安祈願祭の實況放送を約三十分行ふことに決し二十六日新京神社々務所との打合せをなした

時差撤廢に伴ふ 電信電話取扱時間改正

來年一月一日から實施される日滿時差撤廢に伴ひ電々會社では左記の通り、電報電話局所に於ける電報電話の取扱時間を改正することになつた

△和文電報を取扱ふ局所

一、電報配達事務を取扱ふ局所

三月一日から六月三十日迄は午前七時から午後八時まで、七月一日から八月三十一日までは午前六時から午後八時まで、十一月一日から翌年二月末日までは午前八時から午後八時まで

二、電報配達事務を取扱はない局所

三月一日から六月三十日まで、午前七時から午後八時まで、七月一日から八月三十一日まで、午前六時から午後八時まで、九月一日から翌年二月末日まで午前八時から午後八時まで

△滿鐵附屬地にある電話局及び電話交換局に接續する通話取扱所

三月一日から六月三十日まで午前八時から午後八時まで、七月一日から八月三十一日まで午前七時から午後八時まで、九月一日から翌年二月末日まで午前八時より午後八時まで

△前各號以外の局所

三月一日から六月三十日まで午前九時から午後八時まで、七月一日より八月三十一日まで午前八時より午後八時まで、九月一日から翌年二月末日まで午前九時から午後八時まで、但し時間外の取扱はなさず

△鐵道總局及び金福鐵公司所屬電報電話取扱所

午前七時より午後八時までなほ右電々會社の取扱時間内でも關係電話局所の取扱時間に制限ある時はその制限に依り、加入電話との間に關しては此の限りでない

正月旅行は飛行機で！
航空會社のダイヤ

非常時の正月旅行は飛行機で!! 滿洲航空會社新京管區では年末年始旅行者のため空のダイヤは出來得る限り便利を圖つて編成、十二月三十日までは全線平常通り、三十一日は新京發、牡丹江、密山經由富錦行と新京發林西廻り承德行が休航其他は平常通り、一月一日は全線休航、二日から全線就航正月の休みを利用して空の旅を試みやうといふ者には航空會社自慢の空の超特急大連、ハルビン間を僅か二時間餘りで飛翔する豪華〃國光號〃が二日大連から來京ハルビンで一泊翌三日來京大連へ歸航するのでこれを利用すれば愉快な空の旅が出來る、一歩延長して平津方面への旅行者は二日午前四時四十分（改正時間午前五時四十分）新京發の飛行機に乘れば錦州經由で正午には天津飛行場に到着するので平津方面をゆつくり二三日見物して五日の新年宴會には歸京することが出來る、なほ一月一日から航空會社の發着時間は全部改正時間に據ることゝなつてゐるので其の點注意されたい

卅、卅一兩日 バス運轉時間延長

新京交通會社では年末年始に際し一般利用者の便宜を圖るため三十、三十一兩日には市內二、三、四、五、六號線のバス運轉時間を從來の午後十一時終發を一時間延長して十二時とし、一月一日は現在の五時始發を六時にすることゝなつたが日滿時差撤廢による一月一日の運轉時間改正は二三日中に發表される

新京醫院の年末年始

新京醫院の年末年始における診療日時は次の通りである

十二月廿九日　平常通
三十日　受付時間午前八時三十分より午前十時迄
三十一日　受付時間午前八時三十分より午前十時迄
一月一日　休診
二日　受付時間午前九時より午前十時迄（改正時刻による）
三日　休診
四日　受付時間午前九時より午前十時迄）同
五日　休診
六日　受付時間午前九時より午前十一時三十分迄（同）
以下六日同様

兩級小學校 高級生卒業式

特別市立大經路、自强、長通路、文廟、寛城子、龍王廟、西安橋、大同街、西四道街各兩級小學校高級生本年度綜合卒業式は二十七日午前十一時から大經路兩級小學校講堂で晴れやかに擧行された、管理者植田特別市總務處長、萱行政處長、宇山財務處長、呂教育科長、傅視學、來賓として王自治委員長、矢澤常務幹事等多數列席、式は一同御影最敬禮、滿洲國歌合唱後呂教育科長回鑾訓民詔書を捧讀、傅視學開式の辭を述べて呂教育科長より晴れの卒業生四百五十四名に卒業證書、賞品並びに優等賞を授興、終つて同科長の告辭、植田處長訓辭、王自治委員長、矢澤常務幹事其他來賓交々祝辭を述べ、在校生總代の送詞に對して卒業生の答辭あつて同正午目出度く終了式後記念撮影があつた

思想文化の

精鋭な日本青年集め 科學的研究へ
協和會再檢討時代に入る

協和會首都本部では來る一月早々から各分會會員中の精鋭な日本人青年を集め滿洲國の政治、經濟、思想文化に關して眞劍に討議研究するための催しを行ひ新京に於ける青年インテリゲンチヤに科學的研鑽共同研究の機運を導きもつて協和會運動の將來に實質的成果あらしめやうと劃策してゐる、協和會の會員組織は全國民包含主義を第一の原則としてゐるのであるが、それとともに精鋭分子を養成するといふことにも重點を置かれて居り、殊に現在の實勢よりしてそのうち日本人青年會員に課せられてゐる任務は特に大きいとせねばならぬ、この點に着眼した首都本部では本年度でも二回に亘り青年會員の意見發表會を催し相當の効果を擧げたのであつたが今後この種の催しを一層頻繁にまた實績をあげるやうな方法によつて行はうとするものである協和會組織擴充後の國都に於ける同會運動はやゝもすれば特別の記念日などの祝祭的行事或は街頭運動の類に力が注がれ根本的な問題の檢討の如きは忘却されてゐたのは遺憾事とされてゐたところであり、現に社會各分野に亘つて青年層が有する意見を引き出し相互の討究によつてそれを鍊り上げて行くといふことは政治の枯燥、文化の貧困を慨歎されてゐる現狀を革正するのに大いに貢献するものとして期待されてゐる

新戰術を目指す 商店界の陣營
地盤確保と將來の發展策す

國都の躍進的發展に伴ひ一般商店界は在來の營業方針につき一大變革を來さざるを得ず時代に順應した適切な商法により地盤の確保と將來の發展を計るべき必要に迫まられてゐるが、この趨勢に鑑み新京商工會議所では本年度からは更に積極的に助成指導の實を擧げる可く種々新計畫を樹て人員の充實を計りつゝあるがその第一歩として明春早々東京商議發行の商工パンフレット第一輯「如何にすれば小賣商は繁榮するか」を一般商店に配布すべく既に五百部取寄せを終つてゐる、なほ全滿商議聯合會小賣業合理化委員會の編纂になる「商店讀本」、「店員讀本」等も出來次第直ちに配布し、一般商店の參考に資するほか、月報類の發刊も計畫され、明春開設をみる商工相談部と相まつて多大の期待がかけられてゐる

銀行時間延長

新京組合銀行では例年の如く三十一日大晦日は午後四時まで延長することゝなつた

領事館御用納め

新京總領事館では二十八日御用納め二十九日より昭和十二年一月三日迄休廳、一月一日には午前十時半より同十一時半迄構內參事官々邸で拜賀式が擧行される

商議仕事納め

商工會議所では二十八日をもつて本年の執務を終り明年は一月四日を御用始とし六日から平常通り執務するが、執務時間は取敢へず一月から三月末日まで午前九時半開始の午後四時半終了、土曜半日通りに決定した

濱田醫院 角地問題
あす興銀へ陳情

附屬地商店街有力者間に協議されつゝあつた日本橋通り濱田醫院角地問題につき興銀當局に對する陳情は二十八日中に行はれることゝなつた

電電の勳章及賞賜物件傳達式

電電會社では二十六日午前十時より昭和六年乃至九年事變に於ける功勞者中田技術部長以下社員八〇一名に對する勳章及賞賜物件の傳達式を同社講堂に於て擧行した、各重役全社員起立の上瀨田人事課長の開會の辭に次いで各人への賞賜物傳達を終り山內總裁の訓示に對し中田技術部長答辭をなし最後に田中關東軍交通監督部長の祝辭ありて十一時閉會した

電々、電報局新設

電々會社では明年一月一日から新たに安東省寬甸縣長甸河口長甸河口通話所、同省寬甸縣小蒲石河蒲石河通話所及び同省輯安縣外岔溝沿江街外岔溝通話所に電信事務を開始と同時に電報局と改定することゝなつた

朱乙溫泉行に 三中井寄附

三中井百貨店では今回電々會社主催正月の朱乙溫泉團體行に對しコーラン風呂敷十五枚大型洋服ブラッシュ十五個、タオル二十ダースを寄贈した 電々ではこれらの品物を朱乙での各催物の賞品として贈呈することになつた

關東局保健所 移轉開始

市內中央通り新京署隣りに輪奐の美を誇る關東局保健所は工事竣工設備萬端整ひ二十七日畠山組二階の假診療所から引越しを開始した、同保健所は關東局衛生課が本年九月一日發令した診療所取締規則に則り模範的に新設したもので其の設備は全滿一を誇つてゐる、室割は階下が事務所、內科、外科、小兒科、産婦人科、藥劑室、レントゲン室、二階耳鼻科、一般病室、三階齒科、四階動物試驗室に分れてゐる

運動具店の 惡店員捕はる

山東省生れ孫子勤（二十八）は十月一日から吉野町二丁目渡邊運動具店に傭はれて居る中、十一日始めから同店のスエター、ネクタイ、ワイシヤツズボン、運動具と手あたり次第に盜み出し小盜兒市場に持つて行つては滿人料理屋、阿片小賣所で消費してゐたが現在判明しただけでも盜品約六百圓にのぼり總被害千圓余であるが兼てより店員不相應の遊興をするので新京署で監視中のところ二十六日午後十一時頃谷本刑事が吉野町二丁目北滿旅館前小路を歳末警戒中ネクタイ、セーターを包んだ大風呂敷を持つてこそこそするのを發見有無を云はせず本署に連行取調べの結果次ぎ次ぎと犯行を自白してゐるが近頃滿人店員にこふした犯罪が非常に增加してゐるから店主側でも雇入れまたは監視に留意しこふした被害を少くするやうにと當局は語つてゐた

お目出度五組

本年最後の大安日二十六日、は新京神社で五組の神前結婚が行はれた

△午前十時半東京府西多摩郡青梅町平安町、二丁目橋本幸吉氏（二六）、靜岡縣四方郡宇佐美村、平安町二丁目木部さつ孃（一八）
△午前十一時半鳥取縣東伯郡社村、大楡樹山崎傑氏（二八）、岡山縣吉備郡庭瀬町新義州野崎美代子孃（二三）
△午後一時佐賀縣小城郡小城町、奉天琴平町鴨押秀夫氏（三一）、東京市四谷區常盤町一丁目十二號岩永峰子孃（二三）
△午後二時福岡縣田川郡、和泉町三丁目大隈末雄氏（二八）、平安町二丁目大西花子孃（二二）
△午後四時長崎縣佐世保市三浦町、ハルビン許公路戸田哲夫氏（三〇）、長野市浦野久子孃（二三）

柳屋店仕舞ひ 大賣出し

古くから大連に本店を有し洋品雜貨專門店として全滿に誇つてゐる柳屋洋品店は、昭和四年新京吉野町に支店を開設してゐたが、來るべき大連驛の移轉に伴ひ、三越大連支店の連鎖街柳屋前本店進出といふ大問題に逢着したので全滿有數の老舗としてあくまで之に對抗し洋品の柳屋として活躍するには各地に點在する支店出張所を或程度縮少して全力を本店に集中する方針を建てるに如かずとなし新京支店も本年末限り閉鎖大連へ引き揚げに決定した、それで手持商品の賣じまひと一つには年來の客への謝恩奉仕のために廿六日から全商品を半額以下の特價賣出しを開始した

岩間商會の 第二回福引

市內中央通り郵便局前の寶石と時計商で評判ある岩間商會では去る十八日より歳末奉仕の爲同店獨特の景品福引付大賣出中のところ觀客の大好評裡のうちに福引既定數の賣切れといふ盛況に鑑み、平素の愛顧に報ゆる爲更らに第二回福引を開催、廿七日より再び歳末の新京商店界にテビューすることになつた

あす（廿八日）

▲滿洲國各官廳御用納
▲關東局御用納

今晩の主なる演藝放送

▲六・三〇浪花節「孝女お高」（東京）浪華軒〆友
▲七・三五ピアノ獨奏「謝肉祭」（東京）
▲八・〇〇舞臺劇「息子」（東京）市川延升外
▲九・〇〇滿鮮交換放送（京城）
▲九・三〇新日本室內樂高山茂男外

天氣と氣溫

明日の天氣　南西の風晴
日の出　前　七時十三分
日の入　後　四時　七分
月の出　後　四時二二分
月の入　前　六時五九分
けふの氣溫　最高零下五度　最低零下一二度八

藝界下半期決算 演藝（下）

天野光太郎

火の消えた十一、十二月十一月一日、二日が浪曲酒井雲新京では此人が一番人氣がある。それに今年は洋行歸りとあつて今まで例のない二圓の高木戸を取つたが、それでも初日は滿員、二日目は防空演習に當つたのに尚七分の入り本年棹尾の好成績を擧げて氣を吐いた。ところで之を以て本年興行の打止めとし、以後大晦日まで何一つ來なかつたのだから酷い。毎年暮れは興行界が寂れるのが例だけれど今年のやうなのは珍らしい。唯その寂寥を裂るものとして興行の部類には入れられぬが五日に梅若流宗家梅若六郎一行の演能會があり、五圓の會費で六百の同好者が、名人の至藝に陶醉した。それから十六、七日に月刊雜誌新京社の全新京新人演藝大會が公會堂十八、九、二十日の三日間恒例のカフエー演藝大會が長春座にあつた共に土地の素人演藝家の出演で前者は相當粒が揃ひ第一回の試みとしては成功だつたが宣傳不足で入場者は薄かつた、後者は既に新京名物の一と謳はれてゐる恒例の大演藝會で芝居にかけては玄人裸足の天狗連が顔を揃えてゐるカフエー組合の催し丈けに三日間永當々々の賑かさだつた。

十一月で特筆すべきは西廣場滿鐵倶樂部の開館である。固定椅子千二百、内容外觀共申分なき大ホールで、十日に此館で三浦環の獨唱會があつたこの春と二度目だつたせいもあらうが約四百の入りで淋しかつた。外に新京市民音樂會の第二回演奏會が矢張り此館であつた。この會は兎角六づかしいものに許り手をかけたがる傾きがある。力相當のものをミッチリ練習して欲しい、それから十二月になつて十九日に大新京日報社の同情週間の音樂と舞踊の會があり盛會だつた、公會堂の方は十二月一杯閑古鳥が啼いた。

尚一月十六日開館以來三回興行したのみで三月中旬から徒に殘骸を曝してゐた演藝館が十二月二十日銀座キネマと甦生し、色物席のリストから全く姿を消したのも、多少の感慨なきを得ない。」

ミス・ワカナ一行の"漫才・ショウ" 一日より公會堂開演

初春興行に一日より五日間公會堂に出演する女流漫才王ミスワカナ一行は二十八日門司出帆定期船にて三十日大連上陸一路國都乘込みと云ふ素晴らしい意氣と莫大なる旅費を投じて招く主催者側の多大なる犠牲も注目に價する、ミスワカナ特有の漫才ナンセンス劇絶對に他の追隨を許さぬ珍品である、一行のメンバーも新人のみの集團にして漫才、音曲、魔術、安來節等堂々たるピックキャストとスピースる上演により觀客を笑ひを以つて吹き飛ばす趣向を以つて御目見得する、今回は特に大衆料金一圓均一に公開する由

（寫眞はミスワカナ、玉松一郎のコンビ）

雜音

師走もいよく押詰つた各館とも此の年最終のプロに入る▲豐樂新キネ「年忘れ週間」と銘打つて日活「掘部安兵衛」RKO「レヴユウ艦隊」の封切に、PCL「坊ちやん」の再登場、五十錢の料金といふところがサービスの主軸をなすものである▼帝都は依然不振、この月は全くヘタッて了つた態だ、手段を忘れて了つては不可ない、年末は年末で又客足を惹くべく對策が忘れられてはならない、傍觀は敗退への道を示すものだ、緊褌して貰ひたいと思ふ

大泉女優總出の「女軍天下泰平」

新興大泉がファンの皆樣方へのお年玉として贈る女優軍總出の御挨拶映畫『女軍天下泰平』は青山三郎監督古泉勝男技師の精進によつて愈よ成功裡に其完成を見たが之は伏見姉妹、山路ふみ子、高津慶子、毛利峯子、霧立のぼる、江川なほみ、歌川八重子、高野由美、古川登美、田中筆子、眞山くみ子、御影公子等がパーネマント・ウエーヴ初島田洋裝、振袖どりどりの晴やかな衣裳で追羽根、歌留多、ダンスその他いろくの初春らしいシーンを展開して正月氣分を思ふ存分滿喫して頂かうと謂ふ絶對的期待篇である

サボテン

或る夜のこと、亞細亞會館の昌子クン、相當にいい氣嫌になつて「近頃の女はなつとらん！」などと大いに氣焔をあげてゐた、あれで以前は新京の或る商店で事務員をやつてゐたのださうである—「なつとらん」といふ言葉はどうやら同輩たちに向けられてゐるやうに響いたが氣勢に壓倒されて抗辯するものも無かつた▼暫らく奉天へ行つてゐた新川坊や、また新京に歸りました、おしらせして置く

栗山大膳

▼▼▼▼▼▼（豐樂、新キネ新春封切）▲▲▲▲▲▲

日活京都作品、三村伸太郎のオリヂナルものにより池田富保が脚色監督に當る作品、主なる出演者は大河内傳次郎を筆頭に、黒川彌太郎、尾上菊太郎、市川百々之助、鳥羽陽之助、澤田清、瀧口新太郎、大城龍太郎、清川荘司、市川小文治、入江たか子、花井蘭子、高津愛子、深水藤子等で黒田家大騒動を總花の賑ひで描く、キャメラは谷本精史の擔任である、寫眞はその一場面

十二月二十八日　舊十一月十五日

月曜　甲申　先勝　成　畢宿

●一白の人　妄擧を戒め努力を惜まざれば成功を見る日　丙と丁と丑が吉

●二黒の人　何事にも手堅く一歩一歩と進むが安全の日　巳と辛と壬が吉

●三碧の人　輕進を愼しみ空想に耽らず常業を勵むべし　丁と庚と壬が吉

●四綠の人　依頼心を去り己が力を以て焦らず進むに吉　丙と辛と壬が吉

●五黄の人　無理の行動は失敗を招く甚自重漸進すべし　巽と丙と辛が吉

●六白の人　表てに現れざる苦勢の多き日神佛詣など吉　甲と丙と壬が

●七赤の人　一波去れば一浪復追ひ來る焦れば破れの本　乙と巽と壬が吉

●八白の人　目上と隔意を生じ易き日兎角平和が勝なり　辰と申と壬が吉

●九紫の人　朋輩の助けあり目上の引立もある幸運の日　辛の戌と壬が吉

歌はぬ樂譜

山中峯太郎　上島讀決
水門讓二　畫

（二十）

空色の手提袋（一）

——どんな秘密の事情が、かくされてゐて？

澄江は、母なのだつた。

ハッとさう氣がついた俊子は、部屋へ入りかねて、けれど、こゝに立聞きしてゐるのは、なほ氣がとがめて、そのまゝ廊下を浴室の方へ、しづかに立去つて行つた。

——あの道子さんのお母さんが澄江さんだつたとは！

——お父さんは誰？

さう思ふさへ、胸さわぎして、俊子は、湯の音の聞えてる叔母さんに會ふのも、氣がひけた。廊下をまはつて、端の方へ行くと、そこの敷石の上にある下駄をはいて庭先へ出て見た。

かすんでる月を仰ぐと、俊子の胸に、このとき、言ひ知れない寂しさが沁みついて來た。

——澄江さんは、幾つだらう？

二十四五に思はれる、それがもう道子さんのやうな子をもつて、秘密にして……。

自分の子に『母』と名乗れずにゐる人の悲しさ寂しさが、處女の俊子にさへ、女なればこそ解るやうな氣がするのだつた。

——深い事情があるのに違ひない。

さう思ふと、俊子は、あのやうに眞劍な氣もちで預けられた、空色のハンドバックそのものが、今の秘密の事情に何か深い關係をもつてゐるらしい。そこに、疑ひといふよりも、預けられた自分の重大な使命を、友情の上からも感ぜずにゐられなかつた。

庭の上を、俊子は、うら寂しく歩きだして行つた。あたりの木の枝が、春の夜に息づいてゐる。丘の斜面を切りひらいた庭の、向ふを見わたすと、白い路が、うつすらと延びて、橋の袂まで月に照らされてゐる。橋を渡ると、宮の下の方へ行くのだつた。

——早く東京へ行つて、あのハンドバックを、澄江さんの爲に、渡すべき人へ早く渡してくるのがほんたうではないか？

さう思ふと、東京にゐる婚約の岡宏のことが、まざ／＼と想に浮いてきた。

——まさか、こゝまで訪ねてくるやうなことは、ないだらうけれど。

宏その人を、決して避けてゐる自分ではなかつた。けれど、

——輕はずみな戀愛に、自分を引渡すやうな事は、したくない！

さうなのだつた。

——情熱のまゝに動く女性ではありたくない。

かう思ひきめてゐる俊子の自分は、それから見られると冷靜な女の一人であるかも知れなかつた。

『おまへは、理智的だからナ……』

兄さへ、さう言つてゐた。兩親も、さう思つてゐるであらう。宏も、きつと、そのやうに思つてゐるらしく、このごろは、あらためて俊子を見なほすやうな氣配を俊子自身にも感じさせる。

——それでいゝ。

と、俊子は、しつかりと自分をまもり、みだりに自分といふものを崩すまいと。

——こゝに『處女の誇り』があるのぢやないの。

と、かたく信じつゞけてゐた。

——自分を信じられないくらゐなら、どこに生きてゆく甲斐があらう！

この『自信』こそ、今までに考へ考へて來た、心の收穫だつた。

けれど、さう思ひ、さう信じてゐながらも、なほ、寂しいのだつた。

——石田さんは、あの後、どうして？

行方のわからずにゐる、石田忠夫その人の面影が、今もなほ、俊子のこゝろを、かすめて行く。

それは、三年すぎてなほ、忘れ得ない面影だつた。

いつしか庭のはしまで、俊子は歩み出てゐた。足の下に低い竹垣が結ばれてゐて、そこから崖になつてゐる。崖の下を、俊子は、ふと見おろした。

新京日日新聞 朝刊

中央の弱腰見越して 學良、苦肉の南京入り

英の居中調停で生命の保證

輿論叛將に對して痛烈

【上海廿七日發國通】張學良氏が蔣介石氏等とともに上海に飛來したことは部外に洩れることを極力嚴秘に附せられてゐたため少數の者以外には一切知らせず、新聞社、通信社に對しても掲載を差控へさせてゐる、即ち叛將張學良氏に對しては既に全國の輿論が硬化してゐる現在南京入りを許したことは危險なことでその後の工作を妨げることになるから中央としては一切發表禁止の態度に出たものである、しかして學良氏と同道の裏面には イギリスの手が動いてゐることは疑ふべくもなくイギリスの居中調停によつて學良氏の生命を保證したものとみられる、西安滯在の政府要人が全部西安を離れた現在學良氏一人西安に殘るときは妥協條件はとにかくとして政府の堅持した討伐の立前からなんとか處置づけることは想像に難くないので學良氏としても危險この上もないのでこの點イギリスの居中調停が效を奏したわけであるが、既に學良氏のイギリス亡命の議論は整つてゐるかゝる行動をとれば必ずしかして學良氏の南京入りは部下を裏切つた行爲であり、既に一部が赤化狀態にある現在かゝる部下がそのまゝでは濟ますはずがなく、中央の妥協條件があれだけの叛亂を起したのにしては非常に弱腰のものであるからこれ等の點を見越して南京行となつたものである

事態は明朗 伊機關紙論調

【ローマ廿六日發國通】チアノ外相は舊知張學良氏の叛亂に對し切々たる反省電を發したが、蔣介石氏の即時釋放方を勸告したが、廿六日蔣介石氏生還の報にイタリー各紙はいづれも歡迎の意を示してゐる、就中政府機關紙ジョルナーレ・デ・イタリア紙は次の如く論じてゐる

蔣介石氏の南京歸還により事態は明朗となつた、これにより支那における內亂の危機は克服された譯である

南京着の學良氏 宋子文氏邸に起居

近くイギリスへ亡命

【上海廿七日發國通】張學良氏は目下南京北極閣の宋子文氏邸に起居し、蔣介石氏とゝもに監禁の憂目に逢つた要人連が全部南京に到着するまで滯在の上近日中に上海の自邸に引移ることゝなつた、廿七日朝來當地ゼリエル路の學良氏自邸はフランス工部局巡警により嚴重な準備警戒が加へられてゐる、因に學良氏は事件落着の上、下野外遊費として中央より一千萬元を受け、最近の便船でイタリー經由夫人および令息が滯在してゐるロンドンに向け亡命の旅につくと

黃、余兩氏 蔣氏歸還祝電

【廣東廿七日發國通】廣東省主席黃慕松氏、綏靖主任余漢謀は廿五日連名で蔣介石氏宛歸還祝電を發し、併せて中央擁護を再表明した、さらに廿六日午後四時より中山記念堂に蔣委員長安全歸京慶祝大會を擧行、黃、余兩氏以下軍政部要人等四千餘名參加、兩氏其他の中央擁護演說あり盛會裡に午後六時散會した

蔣介石氏の歸還で 廣西、窮地に墜つ

中央屈服のほかなし

【廣東國通】蔣介石氏の生還で、最も衝動をうけたものは廣西である、卽ち廣西では最早蔣氏生還絕望とみて漸次反蔣態度を明かにし「內戰反對」「對日卽時交戰」の旗幟を掲げ西安軍事行動を側面より牽制するとゝもに各地反蔣派の糾合、廣東派の抱込み工作を續け他方李、白氏等は廿日師旅長および各縣民團長を桂林に招集し、四日間にわたつて緊急軍事會議を開催の結果、廣西第十五軍四ヶ師を桂林、全州間に集中して待機せしめ、前敵總司令に白崇禧氏、翁昭垣氏を任命、廿三日南京政府に對し出兵許可要請電報を發し北上開始を强行せんとした、右に對し南京政府は廣西軍の北上を嚴禁するとゝもにこれに備へるため第十八軍四ヶ師を湖南廣東省境衡陽、郴關間に配置するほか別に湖南の第廿二、廿四軍の四ヶ師にも南下せしめる等中央對廣西間の關係は相當危急場面を展開せんとし一方李、白氏の命をうけた參謀長張任氏は廿三日再度來粤、去就に迷ふ余漢謀氏に呼びかけ、廿四日には香港隱棲中の十九路軍將領蔣光鼐氏、蔡廷楷を誘ひ再び十九路軍組織を謀議

急遽

"愼んで斷罪を待つ" 張氏、蔣氏へ書面提出

【上海廿七日發國通】廿六日午後二時十五分南京に到着した張學良氏は直ちに蔣介石氏に次の如き書面を提出した

小生若輩にして思慮足らず遂に今回規律を破つて不敬の大罪を犯した、今恥を忍んで南京に來たが將來わが國に盡すことが出來得れば萬死をも辭さない覺悟である、自分は蔣介石氏が一切の私情を挿まず斷乎學良を處罰されんことを望んでゐる

日濠通商紛爭 圓滿解決せん

村井總領事妥協案成立を報告

【東京國通】廿五日のメルボルンにおける村井ガレット會見において日濠通商紛爭打切りに關する最後的妥協案が遂に成立した旨の公電が村井總領事より廿六日外務省に到着した、よつて同日午後五時半より首相官邸で關稅調査委員會を開催、紛爭打切りに關する日本側の措置を協議、對濠通商擁護法の解除ならびに今後の濠毛輸入統制方法を決するが右委員會終了後直に村井總領事に訓令を發し廿六日夜中にガレット通商相と會見し村井總領事より日本政府の對濠通商に關し明年一月一日よりとるべき措置を公文にて通告せしめると同時にガレット通商相も村井總領事に對し濠洲政府のとるべき措置を通告する筈で、しかして右通告文は廿七日夜當局談と共に外務省より發表されるがこれによつて去る五月以來七ヶ月に亙る日濠通商紛爭は圓滿解決をみることゝなる譯である

取極は暫定的のもの 交涉は二月より

【東京國通】今回の取極めにより日濠通商關係は明年一月一日より新たな軌道に乘るに至つたが今回の取極めはあくまで日濠間の通商非常時狀態を解消せしめるための一時的のものであつて日濠會商當初におけるわが方の主張たる關稅協定爲替調整稅賦課および輸入禁止並に制限に關する問題その他一般通商事項を含む通商條約の締結は依然未解決のまゝ殘されてゐるので、わが方としては今回の成果を基礎に更に最惠國待遇を含む全般的な日濠通商協定に向つて進む筈でこれに就ては來春二月着任の濠洲總領事の新任をまつて濠洲で交涉行はれることゝなつた

漁約議定書延長 廿九日發表

【東京國通】日ソ漁業條約の效力一ヶ年延長に關する議定書は二十六日の閣議において承認を經、直ちに廣田首相より樞府に御諮詢の手續きをとつたが樞府においては來る二十八日の本會議において可決する運びとなつてゐるので、有田外相は卽日重光駐ソ大使に訓電を發し同日中にモスクワにおいて正式調印を行はせるに決定、よつて外務當局ではソ聯側と打合せの上、廿九日午前二時東京ならびにモスクワで同時にその內容を公表することゝなつた、なほ有田外相は年內に調印未了となつた新漁業條約はあくまで調印を勵努せしめる方針を堅持し新春早々直ちに右調印交涉を開始する方針である

廣西

のとつた態度は一層蔣介石氏の憎惡を買ひ、將來壓迫の手はますます加重することは必然で他方西安事件で中國民全般が如何に蔣介石氏を必要とするかを痛感し、その存在價値を再認識したゝめ李、白兩氏の今回の態度は廣西省民の支持すら失ふことゝなるものとみられ、加ふるにいよいよ加ふる中央の壓迫の前には李、白氏等の廣西派は職はずして中央屈服を餘儀なくせられるのであらうとみられてゐる

新島の激震

【新島發國通】廿六日午後より新島地方は海底の地上動によるらしい震動を連續的に感じ、島民は不氣味な豫感にふるへてゐたところ、廿七日午前九時十五分に一大激震襲來し、石造建築物には大部分倒壞し、龜裂を生じ、又木造家屋は倒壞を免れたるも傾斜甚だしく、山は各方面より崩壞し、道路は龜裂を生じて通行危險となつた、目下のところでは人命に異常なしとみられるが、山中で行方不明となつたもの二、三名あるので、目下警官が出動搜査中である、尙ほ激震頻りに相續くので島民は戰々兢々當分は露營のやむなき狀態で、全島は火の氣を消し萬一に處する準備を完了したので新島は全く火氣のない島となり果て、あまつさへ雨露はしのげず全島民は心痛の極に達してゐる

松花江大發電所 明年度から着工

來年度豫算三百十五萬圓計上

滿洲國今後の產業開發に資するためその生產力の基本ともなるべき動力を豐富且つ低廉に供給することは最も重要なる要素なるに鑑み、滿洲國政府は夙にこの方面に着眼し種々研究調査の結果水力發電の好適なるを確め、こゝに第二期建設計畫遂行のため第二松花江に五ケ年繼續事業として發電能力二十萬キロ、落差約五十米の大規模水力發電所の建設に着手することゝなり、來年度豫算に三百十五萬圓を計上、水力電氣建設局を設置することゝなつた

第一條 水力電氣建設局は國務總理大臣の管理に屬し第二松花江における水力發電施設の建設に關する事項を掌る

第二條 水力電氣建設局に左の職員を置く
局長一人簡任、處長二人簡任、理事官三人薦任、技正四人薦任、（內一人を簡任となすことを得）事務官六人薦任、技佐二〇人薦任、屬官三四人委任、技士五〇人委任

第三條 局長は國務總理大臣の指揮監督を承け局務を總理し、所屬職員を指揮監督しその進退および賞罰に關し國務總理大臣に上申し、委任官以下はこれを專行す
局長事故あるときは處長の一人命を承けその職務を代理す

第四條 處長は局長の命を承け事務を掌り理事官および事務官は上司の命を承け事務を掌る、技正および技佐は上司の命を承け技術を掌る、屬官は上司の指揮を承け事務に從事し技士は上司の指揮を承け技術に從事す

第五條 水力電氣建設局に左の二處を置く
總務處
工務處

第六條 總務處は左の事項を掌る
一、官印の管守お[illegible]
[illegible]

第七條 工務處は水[illegible]

第八條 水力電氣建[illegible]

計畫委員會設置

國境地帶法の 施行規則公布さる

滿洲國政府はさきに國境地帶法を制定したが、更に廿八日同法施行規則を制定、民政、蒙政兩部令をもつて左の通りに公布した

國境地帶法施行規則

第一條 國境地帶法（以下地帶法と稱す）第二條により居住證明書の發給を受けんとする者は別紙第一號樣式により居住地所轄警察官署に屆出づべし、居住證明書

[illegible]

特殊會社監督の監察科を新設
愈よ近く實業部に

日滿經濟ブロックの强化、國防產業の充實、重要資源の可及的速かなる開發等の滿洲國經濟建設の根幹をなすいはゆる特殊會社は今年度に於て總數十九の多きに達し資本總額二億二千四百十萬圓に上り、滿洲工業部門の中軸として益々その重きを加へてゐるが、これが設立は滿洲國特別產業法規により、政府の取締監督を受けることゝなつてゐるが現在ではその取締機關に於て何等の官制もみなかつたところ明年度からはいよ〳〵實業部內に特殊會社の監督取締りに當る監察科が新設されこれが統制指導に當ることゝなつた

內蒙義軍 義捐金應募者

協和會では內蒙義軍を聲援するため義捐金を募集中であつたが、廿五日現在までの應募者は左の如くである

△一千圓滿德公司久保久治（東京）△三百圓、協和會職員義捐金の一部△二百圓大橋外交部次長、滿洲弘報協會從業員一同△百圓東條憲兵隊司令官、岩間甲斐之助（新京鐵道北）、星野直樹（新京）田邊治通（新京）筒井潔（新京）△五十圓、五十嵐房吉（大東公司）△廿六圓十錢、大林組大連支店有志四十六名（大連）△廿圓、本間有三（新京）、朴泰晋（新京）村上乙彥（大連）△十圓、保坂敬太郎（大連）富永宗四郎（朝鮮）古木保喬（大東公司）中野八松（新京）△五圓、匿名氏、岡部理（額爾克納左翼旗）△三圓、永山克己（大東公司）兒玉秀雄（大東公司）千川清吉（博克圖中學教員）△二圓、コブチエフ（博克圖中學教員）ザイツエフ・ベ・エヌ（同上）△一圓、野口孝國（同上）ベロフ・ミハイル（同上）カザリノフ・エ・ベ（同下）ローズエウイチヨベ（同上）エポーワケ・エヌ（同上）ベローワ・ウエ・エヌ（同上）ルーバルスカヤ・エル・エヌ（同上）松崎孝（新京）宮下好男（大東公司）杉原達雄（同上）高山與三郎（同上）△九十一圓七十五錢、協和會舒蘭縣本部拔分△百四十一圓、協和會阜新縣本部拔分△計二千六百四十二圓八十五錢

日本視察から二團體歸る

二十七日午後二時着列車で滿洲國稅捐局長日本視察團十一名及びハルビン師範學校訪日視察團三十名が一ヶ月ぶりに歸京した

滿洲輕金會社 大連假事務所

滿洲國產資源に依る金屬アルミニウム製造の滿洲輕金屬製造株式會社は資本金二千五百萬圓、十一月十日創立、左の役員決定本社工場共に撫順に設置されるが當分大連東公園町五七番地に假事務所を設け執務してゐる

理事長 根橋禎二
常務理事 藤飯三郎右衛門
常務理事 劉
理事 內野正夫
理事 高橋康順
監事 山本信夫
監事 堀義雄
監事 張本政

綏芬河附近で又もゲペウ越境
外交部直ちに嚴重抗議

廿五日午後三時頃ソ聯ゲペウ約廿名、ソ聯將校一名、兵二名の一團は戰鬪態形を取りつゝ綏芬河第三隧道附近の國境線を越へ、約百米の地點まで侵入、附近の偵察に從事中なるを發見した同地警備隊の滿洲國軍四十名は直ちに隧道の高地に警戒配備に就き、彼我對峙のまゝ夕刻に至つたが、戰鬪開始には至らなかつた、右は同地點附近の滿軍配備狀況偵察の目的によるものゝ如くである、因にゲペウの主力は同夕刻に至り撤退したが尙一部を殘置しつゝある

【綏芬河廿六日發國通】綏芬河第三隧道附近におけるソ聯ゲペウの越境事件に就き陳綏芬河外交部辦事處長は直ちにソ聯駐綏芬河領事に對し、嚴重抗議し、ゲペウ越境部隊の即時撤退を要求した

皇后陛下 赤十字病院へ反物御下賜

畏くも皇后陛下には嚴寒の砌り有難き御思召を以て今回日本赤十字社大連、奉天、ハルビン病院及錦州診療所入院救助邦人患者に對し木綿反物、同裏地に裁縫料を添へ御下賜の旨滿洲本部に御通達あつた、本部にあつては御品到着次第職員に捧持せしめ各病院長に手交、院長より夫々傳達せしむることになつた

御眞影御通過

畏き邊りから牡丹江領事館に御貸與になつた御眞影は二十六日午後五時十分着あじあで牡丹江に向け御通過した

東亞煙草 配當一割二分

【東京國通】東亞煙草では廿六日午後株主總會を開催、當期利益金處分案七十一萬圓（配當一割据置並に卅周年記念配當年二分）を決定した

新情報部長は吉澤氏

【東京國通】有田外相は天羽情報部長をスイス公使に榮轉せしめることに決定したがその後任として駐米大使館參事官吉澤清次郎氏を起用するに決定、廿六日同參事官に歸朝命令を發した

滿鐵辭令

（十二月七日）
大藤傳治郎 新京青年學校指導員を委囑す

日本の名馬二頭ダービーに遠征せん

【神戸國通】賞金七萬五千圓といふ秋季競馬の最高取得賞金額レコードを作つて秋を飾つた關西の駿豪クレオパトラ・トマス、四萬六千圓を獲得したヒアスアロートマスは共に現在日本の最高水準にある優秀馬であるが、今度阪神競馬で關係者がこの兩名馬を外國競馬に出場させ輸贏を鬪はせようといふ話がはじまり先づ明春のケンタッキーダービー（アメリカ）に送ることに決定した、しかして若し同競馬に間に合はなかつたら夏のダービー（イギリス）に出すことは確定的となつたが世界的檜舞臺ダービーに遠征することはとまれ我競馬界永年の希望が實現する譯で晴の騎手としては若冠の鬪士陽川爲夫君が有力であるが今やその成否は全國ファンの注目を惹くに至つた

司法考試合格者

司法考試令に依り本年施行された司法考試委員長古田正武氏より左の如く發表された

孫承訓、祝果、劉鴻業、王樹才、潘樹德、王恩綿、趙志乾、李生、梁威之、竇恩東、何治平、邵君達、孟學仁、張伸起、劉民悅、杜升、傅貫春、饒秉凡、赫崇厚、辻忠則、沖內昇、陳生山瀨文雄

大同學院第一部第八期生合格者

滿洲國政府では將來滿洲國の中堅幹部たるべき官吏を大同學院において養成すべくその採用試驗を新京、京城、京都東京の四ヶ所で施行したが、廿五日の最後の詮衡會議により合格者は左の百名に決定した

△東京帝大 本田春樹、田中覺郎、原鏡一、和氣延男、高木潔、川島眞一、河島三郎、米山文平
▲京都帝大 加藤市吉、池茂治、茂莉義一、淺見金夫、早水信夫、松原信博、福山眞三郎、奥山宣人、田淵昇、前野謙一郎、田村卓三、濱田臨忠、花田萬美、柴田秀三郎、生野從宜
▲東北帝大 伊藤裕一、若林俊夫、大山謙介、高畑義正、加藤正吾、稻垣精一、川村健三、大石孝章、內館新平、村田幹司、三島高行
▲九州帝大 近藤卓雄、大林正安
▲北海道帝大 木村茂、佐久間大三、櫻田榮作、丸杉孝之助
▲京城帝大 福田要
▲臺北帝大 石龜敏夫、鶴藤志美
▲早大 劉獻權、河野剛三、長谷部遠也、葛原孝次
▲慶大 兼子辰夫、伊丹類雄、矢富二朗
▲中央大學 崔昌國、古內長二、井坂斗榮
▲明大 中村嵐雄
▲立命館大學 中島正
▲拓殖大學 門井茂
▲東京文理大 大日方秋男
▲旅順工大 金斗三
▲神戸商大 石丸武順
▲東洋大學 熊谷忠雄
▲同志社大學 田中八千男
▲立教大學 藤井一
▲横濱專門 西田幾久男
▲大倉高商 宮本茂男
▲高岡高商 村上敏夫
▲關西高商 水野昇
▲大分高商 藤田優
▲松山高商 河村文之
▲山口高商 池田太壽久
▲臺北高商 横田正二
▲名古屋高商 南勝正
▲福島高商 田崎惠毅、樋之浦聖
▲臺南高工 王銘勳
▲南滿工專 釜床一義
▲名古屋高工 三好勝
▲岐阜高農 谷原誠一、森井靜
▲宇都宮高農 川瀨潔、綿引俊一、齋藤七郎
▲盛岡高農 野木富士男、川添淸六
▲東京高農 長戸正夫
▲鳥取高農 川村茂
▲三重高農 近藤比佐雄、園浦和己
▲鹿兒島高農 德田義也、新垣良公
▲水原高農 愈南鎭、守田正昌
▲東京外語 岡崎竹千代、今井正二
▲大東文化 植松正三寅、小山正二、齋藤進
▲同文書院 曾木卓
▲哈爾濱學院 田村守英、財前直方、河西武
△日大 松尾道

共產黨シンパの東株取引員自殺

【東京國通】廿六日朝日本橋兜町東株一般取引員金半商店主小林武次郎氏は自宅洋式風呂場にガスを充滿し、裸體入浴姿のまゝ死亡してゐるのが發見された、脫衣場には飲みかけのウヰスキーが殘つてゐた、周圍では醉後の入浴による過失死といつてゐるが自殺ではないかともみられる、小林氏は三・一五事件當時日本共產黨の有力なシンパとして巨額の黨資金を調達し、豪傑肌で株式界の異色ある存在であつた

訂正

二十五日附朝刊七面所載滿洲國新郵便法についての記事中二十六日公布とあるを二十五日公布に訂正

一般會計で二千八百余万圓の歲出增加
增加額の主なるもの

明年度歲出入豫算は別項の如く一般會計において本年度に比し二千八百六十九萬三千圓の歲出增加となつてゐるが、この增加のうち主なるもの左の如し（單位千圓）

△總務廳
營繕費 一、三二四
地籍事業費 一、六〇〇
協和會補助金 六五〇
弘報協會補助金 一七〇
恩賞費 二九四
退職金 二一〇
馬疫その他研究費 五八一
大同學院費 五〇

△民政部
地方稅輕減補塡 一、五三五
法權撤廢費 一、五〇〇
警察費 四〇〇
海邊警察隊警備船建造費 五〇〇
移民關係費 五七〇
市職員俸給を國庫負擔となしたゝめの增加 一、〇二〇
縣歲入缺陷補助費 一、〇二〇
街村指導費 五七〇
衞生費 五六一
假地岸貼 三八〇
縣債利子補給費 一五二
熱河省阿片附加稅交付金 三五〇

△外交部
通州、德化派遣員及ソ聯派遣員並に國境劃定調査員 八四

△軍政部
士兵給與費 七三四
兵馬飼乾費 五一一
治安隊費 七五〇
築城費 一、五[illegible]〇
兵器整備費 一一五
教育演習費 一六〇
公死傷病恤金 一二〇
測量費 八五
馬政事業費 七三三

△財政部
國債利子 七七九
投資會計利息補給 一、四三四
福民獎勵費 二四五
關稅關係費 二八七
國稅關係費 二四九
財務學校費 一六五

△實業部
農產物改良增產費 一、四四三
農業團體助成金 七八一
畜產獎勵費 六三七
招墾適地調査費 一六六
觀象費 三二〇

△交通部
私設鐵道補助費 二七〇
航空會社補助費 一五〇
飛行協會補助費 四〇
電話保證金返還金 一四〇

△司法部
縣司法機關改組費 四〇〇
興安省司法機關費 三九
法官採用費 一〇一

△文教部
高等工業學校費 七六
高等師範高等農業學校費 八七
各專門學校整備費 一四〇
中等學校負擔額 一三八
私立學校、文化研究院補助費 二一

△蒙政部
警察費 二八八
畜產獎勵費 二三一
錦熱蒙旗及省公署改組費 三二七
興安學院 一三

地方制度改正
全國的の財政强化を期して
明年一月一日實施

滿洲國政府は今般地方稅制度につき國稅制度との關聯を考慮し其の全國的の統制均一を圖ると共に地方を一體とする財政の基礎を鞏固にする方針を決定し十二月廿六日附政府公報を以て其の實行に關する諸般の法令を公布し明年一月一日より實施する事となつた今改革の大要を述ぶれば第一に地方稅附加稅制度を樹立したことである、即ち此の改革に依つて從前の地方稅中法人營業稅に對する營業稅附加捐、粮捐、木捐及び鑛業稅附加捐を廢止して、法人營業稅、出產粮石稅、木稅及び鑛業稅に對し各全國同一率の稅率に依る附加稅を課することとし又禁煙特稅に付いても之に倣つて附加稅を定めた、そして右の附加稅は之を原則として各省の收入（省地方費）に歸屬せしむることとしたのである、尙地方稅たる營業稅附加捐（法人營業稅に對するものを除く）に付いても其の課稅率の制限を超過する課稅を認めないこととなつた、次に徵稅方法の統制單純化を期したことである、即ち今度は法人營業稅附加稅、出產粮石稅附加稅、木稅附加稅、鑛區稅附加稅及び鑛業稅附加稅の賦課徵收に關する事務は市縣旗稅たる營業稅附加捐と同じく各其の正稅と同時に稅捐局に於て賦課徵收することとした、尤も禁煙特稅の賦課徵收に關する事務は正稅附加稅共縣長又は旗長が之を行ふのである、之を要するに今回の改革は次の如き效果を齎すものと考へられる

（一）財政的には國稅又地方稅を通じたる租稅體系樹立の素地を强化すること
（二）各地課稅負擔の統制均一
（三）課稅負擔の一般的輕減
（四）納稅手續上の便益促進

五格姫のお目出度

けふ軍人會館で晴れの式典

二十八日午前十一時日満軍人會館にて晴れの御結婚式典を擧げさせられる五格姫は畏くも満洲國皇帝陛下の御末妹に當らせられ、本年二十才にわたらせられる、昭和九年天津から國都新京に御出で遊ばされ、爾來宮中にて皇帝陛下御自らの親しき御教導により詩書の道にも至つて御造詣深く在らせられるがまた美術、音樂にも非常に御堪能にて殊にピアノを御好遊ばされると洩れ承はる、誠に古今東西に亘つて御教養深き美しき御姫君であらせらる、また新郎萬嘉熙中尉は清朝の遺臣にして満洲建國後も執政府に在り偉大な功績のあつた萬繩栻氏の長子である、本年二十六才、昭和九年日本陸軍士官學校を優秀な成績で卒業し恩賜の軍刀を拜受した、現在熱河第五軍管區司令部參謀處附參謀の要職に在り、滿洲國軍の柱石たる可く未來を囑望されてゐる青年士官である

一月一日を期してバス時間も改正

現行時間より一時間繰下げ

ラッシユ線に新車九台を増配

新京交通會社の一月一日から改正標準時によるバス運行改正時刻も現行時間より一時間繰り下げ運行とし新車九台を各官廳のラッシユ線に運行し一般乘客のサービスを圖るが改正時刻表は左の通り決定した

一、定期路線

▲一號線、驛前始發午前八時卅分同終發午後九時卅分、南關始發午前八時五十分、同終發午後九時四十八分（五分置き運行、午後七時から三分置き運行）

▲二號線（國務院前ゆき）驛前始發午前七時三十五分同終發午後十一時卅分、國務院始發午前七時五十五分同終發午後十一時四十分（普通時八分置き、午後八時から九分置き、通勤時六分置き）

▲二號線（金輝路ゆき）驛前始發午前七時三十八分同終發午前零時五分、金輝路始發午前七時五十八分同終發午前零時二十五分

▲三號線（南新京ゆき）驛前始發午前八時二十分同終發午前零時五分、南新京始發午前八時四十分同終發午前零時二十五分（普通時十二分置き、通勤時十分置き）

▲三號線（白菊町財政部間）白菊町始發午前八時三十分同終發午前十時十五分、財政部始發午前八時四十五分同終發午前十時十五分（十五分置き、通勤時中は折返し運行）

▲三號線（同）白菊町始發午後四時五十五分同終發午後五時五十五分、財政部始發午後四時四十五分（十五分置き）同終發午後六時十分

▲四號線、驛前始發午前七時五十五分同終發午前零時十五分、陸軍病院始發午前八時十分同終發午前零時三十分（朝通勤時十分置き、普通時十五分置き、午後七時四十五分から三十分置き）

▲五號線、南廣場始發午前八時三十分同終發午前零時五分、寬城子始發午前八時四十五分同終發午前零時二十分（十五分置き、午後七時より三十分置きとす）

▲六號線、南關始發午前八時四十五分同終發午後九時十五分、南嶺始發午前九時十五分同終發午前零時三十分通勤時十五分置き、普通時三十分置き、午後十時、十一時、午前零時五分は新京驛前發とす）

▲八號線、南廣場始發午前八時十分同終發午後九時、白菊町始發午前八時十五分同終發午後九時十八分（通勤時十五分置きとして陸軍病院まで延長す、普通時十二分置き）

▲九號線、南廣場始發午前八時三十分同終發午後八時、春日町始發午前八時四十五分同終發午後八時十五分（三十分置き）

▲十號線、南關始發午前八時四十分同終發午後七時、二道河子始發午前八時五十分同終發午後七時十分（二十分置き）

▲十一號線、南廣場始發午前八時卅分同終發午後七時三十分、東站始發午前八時四十五分同終發午後七時四十五分　三十分置きとして通勤時は驛前まで延長する）

▲十二號、線白菊町始發午前九時十分同終發午前九時三十分、中銀始發午後五時十五分同終發午後五時三十分（午前は五分置き午後は十分置き）

▲十三號、線南廣場始發午前八時四十五分同終發午後五時四分、財政部始發午後五時十五分同終發午後五時四十分（午前四分置き、午後五分置き）

二、通勤時專用路線

新潟物產を捌く

五十嵐ビル竣工

五十嵐齒科醫院も同時開業

從來土木建築請負、煖房衛生工事、木材砂利砂石材御販賣等により、滿洲業界の重鎭として名聲嘖々たる合資會社五十嵐組々長五十嵐辰豐氏は今回新京中樞地區たる新發路に總建坪六百三十三坪四階建の豪華ビルを建築、去る二十日落成と同時に同社滿洲總務所を該ビル内に移轉し今後益々業務の擴張を期すると共に新規事業として五十嵐齒科醫院の開業及び新潟物產販賣所の

開設

を發表した、五十嵐齒科醫院は既に準備萬端整ひ廿九日を以て開業と決定した、院長は五十嵐氏の愛孃スキヱ女史の夫君藤島弘道氏で、副院長はスキヱ女史である、次に懸案解決した京圖線は、北鮮羅津新潟間を結び付けることによつて舊裏日本を一躍して滿洲の表玄關たらしめ、日滿交通上に一新紀元を劃した、茲において從來九州方面より滿洲に流入してゐた物資及び人が漸次北陸方面の其れに驅倒凌駕されんとする形勢を示すに至つた。五十嵐氏は豫ての宿志たる北陸地方の優良物產及び質實剛健にして根强き性格を有する人材を滿洲國に供給すべく第一着手として前記五十嵐ビル内に新潟物產販賣所を開設氏の出身地たる新潟縣の

物產

を一手に供給販賣することになつた。從來新潟縣の產物は大工道具の如きは既に滿洲に向け年額十萬圓以上を輸出してゐるが、右は約八軒の商人の手によつて爲され僅かに年四回乃至五回の出張販賣を行へるに過ぎず、之に對して五十嵐氏の物產販賣所に於ては車積にして新京に持ち來て直接各金物商に卸すのであるから其供給量の豐富と値段の低廉とは同日の比ではない、其他小知谷、十日町、栃尾織共に二割以上の安値で提供することが出來ると。當月縣の洋食器類は輸出年額六十萬圓以上を示し之れ又東京名古屋大阪等の商人の手を經て滿洲に供給されてゐたが、今回の物產販賣所の新設により產地新潟より新京に直送され安價に提供されることになつた、其他家具、野菜、果物、漬物等も大連新京間と僅々四哩しか違はぬ羅津新京間の最短距離を直送され、其の運賃も今春迄は後者が約三割高だつたが今や同値となり、加之今回新京に保稅倉庫の

新設

を見稅關手續も至極簡便となり一週間を出でずして產地より直送新鮮佳良の商品を供給することが出來るやうになつたまた同販賣所に於ては本邦物資の輸入のみでなく豆粕麥粉其他の滿洲特產物をも輸出し滿洲國の殖產興業に大いに貢獻するさうである、なほ五十嵐ビル落成五十嵐齒科醫院開業及び新潟物產販賣所開設紹介のため來る二十九日午後六時より大和ホテルにて多數の朝野の名士を招待して盛大なる記念宴會が催される

土建界の寄生虫

無智な苦力を搾取する不逞横行

榊谷組下請負捕はる

原籍大連譚家屯不老街趙子禎（三十）は榊谷組の下請負として北黑線額爾、濤吳、辰情三驛の建築工事を七千余圓で請負し大工、左官、苦力多數を使つて八月三十一日竣工し四千圓を榊谷組より受取り一部をそれら使役人に與へその後は明日、明後日と種々理由をつけて支拂を延ばしてゐたので、榊谷組でも殘金は趙に渡す可きか考慮してゐたが、これを知つた趙は愛琿站出張所の會計齊藤、加藤兩氏＝假名＝に金時計を贈つたり賄賂を使つて十一月十五日午前九時頃同出張所で二千五百圓を受取りそのまゝ着服新京に逃走し西四馬路三金客棧に投宿し料亭に豪遊してゐた、現場では金を取受りに行つた趙が歸らないので色々調べたところ新京にゐる事がわかり代表者を立て談判したが苦力頭に渡したと言つて埒があかず遂に朝日通り義茂春外數名の名で新京署に告訴して來た、新京署では搜査の結果西四馬路三金客棧に潛伏してゐることをつきとめ二十六日朝寢込みを井上、孫兩刑事が襲ひ逮捕したが、現地にゐる勞働者は着るに衣なく、食ふに物なく、動くに金なく、宿もなく、乞食をしたり兵舍の殘飯をもらつたりして生きてゐるが國へも歸れず又は女房や子供を抱へてゐる者もあり寒空に只泣くばかりの慘狀に血も涙もない趙は豪奢な服裝をして美妓を侍らし酒池肉林の享樂に耽つてゐるとは非道の極みで、結氷期に入り工事中止になつて以來殊に暮を控へた昨今新京署に使用人の賃銀未拂に泣き込む者丈けでも保安係に卅餘件司法係に數件ありこの種勞働階級の膏血を絞つた金を不拂にし己れ一人贅澤をする者は人道上からも許せない事で嚴重處理するとの事である

″お正月を留置場で″

罪の男泣込む

お正月を留置場でしたいと志願する男……愛知縣西加茂郡擧母町梅津生れ稻本政一郎三男重雄（二十三）は尼ケ崎有田モーターに働いてゐたが、猫もしやくしも滿洲、滿洲と云ふ話にすつかり魅せられ、遂昨年三月三日主人から頼まれた集金二百圓を横領して朝鮮經由で來滿同和商會、喫茶亞細亞、康德、天平、彼女等に働いたが、犯した罪におそれ警察の戸口調査、在留届の催促毎におびへて一つ所にも落ちつけず轉々としてゐたが、罪の呵責にさいなまれ夜もねむれず十一月末彼女をやめて友人の所に行つたが神經衰弱になり、惡いことをしました處分して下さい、留置して下さいと廿七日午後六時領警署へ變つた泣き込みをして來た

米と酒　御家庭に喜ばれる　商品券　一圓以上御詰調進　西村洋行　ダイヤ街　電(3)二〇一一・五四五八

躍進！十一年度スポーツ界（下）

京吉驛傳競爭を筆頭に

隆盛のマラソン界

全面的向上を期す氷上競技

陸上

三月中旬シーズンに先がけて新京、滿洲兩陸育聯盟からスケヂユールの發表をみた陸上競技界は本年度も相變らず充實した多彩なプログラムに愈よ國都スポーツ界の隆盛を思はせたが、先づシーズンのトツプは三月二十二日並びに四月五日の二回に亘つて擧行された南新京、西公園間の斷郊競爭によつて切られた、然しシーズン最初より一般陸上競技ファンにとつて最大關心事の一つであつたのは同榮盛京時報並らびに本社共同主催の第二回新京、吉林間驛傳マラソン競爭であつた、本大會は昨年その第一回が敢行されるや全滿陸上競技界に於ける劃期的壯擧と稱されたるのみならず、王道スポーツの眞髓として讃へられ輝やく成功を收めただけあつて、第二回の壯擧に對する一般ファンの期待は盛し開催前より異常なるものがあつた、四月九日總裁阮文教部大臣會長韓納新市長以下大會役員の決定をみ、六月二十一日を期して花々しく擧行されることゝなつた、これに先立ち五月二十一日全滿からの出場チーム十一個所が決定されたが即ち大連、奉天、新京、ハルビン、吉林（以上日滿兩チーム）錦州（滿洲國チーム）であつた、五月二十四日には新京豫選會が新京驛、南嶺往復コースにより開催され、日本人チーム鐵彬君以下九名、滿洲國チーム于希濱君以下九名が決定され五月三十日から毎土曜西公園にて合同練習を行ひ、新京チームの結束を固めた、かくして六月一日には吉林、新京間の最後的コースも決定し、二十日には豫定通り全滿洲の强剛チームは新京に集合、公會堂にて前年度覇者大連チームから優勝旗の返還を終り、いよ〳〵二十一日午前八時吉林驛前をスタートする此の記念すべき大會は全滿の注目裡に決行された、結果は戰前の豫想を裏切り、强しと言はれた大連チームは第五コースに於て雨田君が日射病に倒れる悲慘な事故のため遂に遲れ凱歌は地元ファンの聲援の甲斐あつて新京軍が八時間十分三十五秒の新記錄をもつて優勝した、なほ滿洲國チームの一位は奉天軍の占めるころとなつた

本年は盛夏八月ベルリンに於て第十一回オリンピツク競技會が開催され、出場の日本チームは六月一日マラソン選手の一團多度切りに十一日の陸上競技選手團、二十二日の本隊（水上、蹴球、レスリング…

氷上

聯合クリスマス

賑つた昨夜の公會堂

新京日滿鮮露各基督教會聯合クリスマスは二十七日午後六時から記念公會堂で擧行された一千五百人を容れる公會堂の大ホール正面には日滿國旗とステーヂには數個の大きな星やクリスマスツリーが飾られ場内には一種の需聖な氣分が漲つてゐる、今日の愉しみを待ちかねた日滿鮮露在京各教會の信徒、青年會員は時間前から陸續と詰めかけ式場を埋めつくす、かくて定刻メソヂスト教會大友牧師の司會にて第一部聖書朗讀、祈禱、聖歌合唱、日基石川牧師他各教會牧師の祝辭があり第二部に移り青年會沖野氏の司會にて餘興開始、最初に日滿鮮露各教會幼兒の可愛い挨拶がありつゞいて朝鮮教會幼兒の遊戲「マリヤの祈り」ロシヤ教會幼兒の子守唄、滿洲國長老教會幼兒の合唱「大喜信息」新京女子青年會「活人畫」聖公會の對話劇「クリスマス」ロシヤ教會のコーラス、朝鮮教會のコーラス、日本基督教會の聖劇「聖子降誕」等各國獨特の餘興に毎回破れるやうな拍手を浴びて終了最後に組合教會青年會岡田氏の挨拶をもつて午後十時頃閉會したが未曾有の盛況であつた（寫眞は記念公會堂の聯合クリスマス）

年賀郵便締切あと二日！

小學生も參加、戰場宛らの郵便局

新京中央郵便局の年賀郵便特別取扱締切はあと二日に迫り局内はまるで戰場のやうな忙しさをつづけてゐるが、二十七日からは市内小學校兒童の臨時採用者が加はり小さい臨時局員が赤鉢卷姿甲斐々々しく大人に交つて立働いてゐる なほ月掛貯金の集金は一月一日から三日まで事務休止の筈であつたが五日まで休止することに訂正された

バツカス營業停止

カフエーバツカスは十日程前に某カフエーの支配人をしてゐる西山正＝假名＝に六千圓で讓り渡して現在は西山が營業を續けてゐるが何等その筋への屆出でがないので派出所から再三注意されたにもかゝわらずまだ屆けないので不屆きなりと二十七日營業停止を命ぜられたが最近新京の飲食店カフエーで屆出た經營者管理人が實際にはゐない家があるのでそうした店はどん〳〵營業取消しを斷行する由

協和會懇談會

協和會首都本部では二十八日午後二時から中銀俱樂部に在京各新聞、通信社記者を招き懇談會を開催する

大陸上軍の來征で七月二十六日西公園にて全新京軍と交驩…

外週間中十八日に擧行された
スケート祭は本年度氷上界の…

滿洲氷上聯盟公認スケート場として盛大に開設され、同月…

サンザンクサイ（電話３・３９３１）と妙にもぢつてブレンソーダ開業したスキヤキの米久主人が新京草分けの田島獸醫夫人だけに相當の客足を呼んでゐるが▲數日前の夜日本留學から歸つた滿洲國の中堅細東京のものと比べて見やうと▲スキヤキ、サシミ會といふのを米久で催したわけ、ところがこの時こばかり腕に縒り（？）をかけてやつたものか一同〝東京に勝るとも劣ることなし〟と證明▲自今東京を思ひ出す毎に米久でスキヤキとサシミ會を催すことになつた由

▼新京區公示第二九號

昭和十二年四月當課所管幼稚園ニ入園希望兒童ノ保護者ハ左記ニ依リ所定ノ申込書ヲ一月二十五日迄ニ新京事務局地方課學事係ニ提出セラレ度

昭和十一年十二月二十五日

南滿洲鐵道株式會社新京事務局地方課長　田中弘之

記

一、入園兒童　自昭和六年四月二日至昭和七年四月一日出生者

一、入園申込書受付期間　自昭和十二年一月六日至同年一月二十五日

一、入園申込書ニハ戸籍謄本若ハ同抄本ヲ添附ノコト

一、入園申込書ハ新京事務局地方課學事係ニ請求セラレ度

告示第二六號

昭和十二年一月一日午前十時半ヨリ同十一時半迄當館構內參事官々邸ニ於テ拜賀式ヲ擧行ス

右告示ス

昭和十一年十二月二十六日

在新京總領事代理　中野高一

新京居留民會公示第三號

昭和十二年四月新京各小學校第一學年ニ入學セシムヘキ新京特別市居住兒童保護者ハ左記ニ依リ所定ノ申込書ヲ一月二十五日迄ニ新京居留民會學事係ニ提出セラレ度

昭和十一年十二月二十五日

新京居留民會長　田中善平

記

一、入學兒童　自昭和五年四月二日至昭和六年四月一日出生者

一、入學申込書受付期間　自昭和十二年一月六日至同年一月二十五日

一、入學申込書ニハ戸籍謄本若ハ同抄本ヲ添附ノコト

一、入學申込書ハ新京居留民會學事係（電話二一三八六〇番）ニ請求セラレ度

第參拾四期營業報告（自昭和十一年六月一日至昭和十一年十一月三十日）

貸借對照表

資產之部（借方）

科目	金額
建物	[illegible]
營業用什器	[illegible]
貸付金	[illegible]
手形貸付金	[illegible]
當座預金	[illegible]
金銀	[illegible]
合計	[illegible]

負債之部（貸方）

科目	金額
資本金	[illegible]
法定積立金	[illegible]
別途積立金	[illegible]
退職手當基金	[illegible]
所有物價格	[illegible]
銷却基金	[illegible]
未拂配當金	[illegible]
借入金	[illegible]
假受金	[illegible]
前期繰越金	[illegible]
當期純益金	[illegible]
合計	[illegible]

損益計算（自昭和十一年六月一日至昭和十一年十一月三十日）

利益之部（貸方）

科目	金額
收入家賃	[illegible]
預入利息	[illegible]
雜收入	[illegible]
前期繰越金	[illegible]
合計	[illegible]

損失之部（借方）

科目	金額
役員報酬	[illegible]
給料手當	[illegible]
修繕費	[illegible]
諸雜費	[illegible]
火災保險料	[illegible]
土地料金	[illegible]
諸稅及公課	[illegible]
支拂利息	[illegible]
雜損	[illegible]
諸建物減價銷却	[illegible]
什器機械原價銷却	[illegible]
當期純益金	[illegible]
合計	[illegible]

利益金處分

一、金一萬二百九十六圓九十錢也　當期純益金
一、金一千一百五十二圓二十一錢也　前期繰越金
合計金一萬一千四百四十九圓十一錢也
之レヲ處分スルコト左ノ如シ
一、金八百圓也　法定積立金
一、金一千五百圓也　別途積立金
一、金一千圓也　退職手當基金
一、金六千圓也　株主配當金（年六分）
一、金一千一百四十九圓十一錢也　役員賞與金
一、金一千圓也　後期繰越金

右ノ通リ候也

昭和十一年十二月二十四日

長春建物株式會社